

# 城陽おひさまプロジェクト news

第3号 2013年5月8日 市民共同発電をひろげる城陽の会

任意団体・市民共同発電をひろげる城陽の会はNPO法人格取得へ

#### 6月8日(土)に鴻巣会館で経過説明会と設立総会と報告会を開催

## 会員のみなさんのご参加をお願いします

市民発電の会・会員のみなさん、2月の「シェーナウの想い」上映会から3ケ月がたちました。事務局一同「今年こそ城陽・再生可能エネルギー元年」をめざして奮闘中です。上映会で報告しておりましたように、任意団体「市民共同発電をひろげる城陽の会」を事業主体として、より一層責任ある団体とするため、法人格(特定非営利活動法人=NPO法人)を取得する準備を進めております。

法人格の取得は、社会的な信用度が高まり、太陽光パネルの設置など多大な基金を扱う上で、責任主体が明確となることなど大きなメリットが生まれます。このほど所轄庁(京都府)との協議がようやく整うとともに、定款や事業計画、法人代表者や理事の選定・内定にも目途がたつ状態となりました。

つきましては下記の日程でこの間の経過とNPO法人・市民共同発電をひろげる城陽の会の設立について主旨をご説明し、皆さんのご協力を得たいと思っています。また、今後の方針、事業計画についても提案を行いますので論議をお願いする次第です。なお、方針・事業計画では公的施設への太陽光発電設備設置申し入れ活動のみならず、個人住宅への設置活動(ゼロ円システム採用)の案内もさせていただく予定です。会員のみなさんのご参加とともに、再生エネルギー普及に関心をお持ちのお知り合いの方々をお誘いいただきますようにお願いいたします。

#### 経過の説明とNPO法人設立総会のご案内

日時 6月8日(土) 午後1時30分から

場所 鴻巣会館 2 階会議室

議題 この間の活動報告と NPO 法人設立の趣旨

NPO 法人設立について

### 久世保育園でおひさま発電のプロジェクト、始まる

社会福祉法人清仁福祉会が運営する久世保育園(城陽市久世芝ヶ原 松岡和子園長)では「環境に やさしい生活の大切さを体験できる機会」をつくろうと保育園に太陽光発電の設置を決め、保護者会・ 地域の方々に協力を呼びかけています。設備は 10 k w規模、8 月に点灯式の予定です。この取り組みには認定NPO法人きょうとグリーンファンドが全面的にバックアップ。グリーンファンドの大西啓子理事は「子ども達に自然エネルギーをプレゼントするよい機会」と語っています。市民発電の会で もこの身近なすばらしい取り組みに賛同し、寄付金の拠出をしています。

詳しくは事務局又はきょうとグリーンファンドのhp (http://www.kyoto-gf.org/)をご覧下さい。

#### 各地の市民共同発電所 紹介

今回はコープさっぽろのメガソーラー発電所をご紹介します。

#### 帯広に市民出資のメガソーラー完成 (2013年03月22日 十勝毎日新聞社)

コープさっぽろ(札幌、大見英明理事長)が帯広市内2カ所で建設していた、出力約1.2メガワットの大規模 太陽光発電施設「コープ・市民ソーラーとかち南町発電所」(南町南6線)と、同0.75メガワットの「コープ・市 民ソーラーとかち川西発電所」(川西基線24)が完成し、稼働を開始した。両施設の総工費約7億円のうち、 約3億円を組合員が出資(メガソーラー債)しており、市民出資によるメガソーラーとしては全道初となる。

南町発電所は約3万2000平方メートルの敷地に約5000枚のモジュール(パネル)を設置。建設費用は4億1000万円で、年間予測発電量は135万キロワット時としている。

川西発電所は約2万平方メートルの敷地に約3100枚のモジュールを設置。建設費用は2億9000万円で、 同82万4000キロワット時としている。



【コープ・市民ソーラーとかち南町発電所】

21日午後2時半から南町発電所で行われた竣工 (しゅんこう)式には関係者約40人が出席。神事に続き、運営を担うコープさっぽろ子会社のエネコープ (札幌)の野坂卓見社長ら8人がテープカットを行った。 野坂社長は「皆さんの協力で完成してほっとしている。今後、親子見学会なども計画している。メガソーラーをきっかけに、自然エネルギーに関心を持ってもらえれば」と話していた。

注:メガソーラー事業は、コープさっぽろの100%子会社、エネコープ(本社・札幌市)が担当。

発電総量は、約220万キュアッ時で一般家庭600戸分に相当する。

市民共同発電をひろげる城陽の会 〒610-0121 城陽市寺田今堀 52-106

TEL/FAX 0774-55-4190